

市民の皆様へのお願い

～新型コロナウイルスの感染拡大防止のために～

飲食の場を介して、また、家庭内での感染が拡大しています。家庭の外でも内でも感染を拡大させないためには、皆さん一人ひとりの実践が不可欠です。

家庭内における注意

(感染事例)

Aさんは夫と子ども2人の4人暮らし。近くに高齢の母親が独りで住んでおり、週末には子どもを連れて様子を見に行っている。母親は毎週末の訪問を楽しみにしており、先週末も購入した食料品を届け、母親によく聞こえるようにと、いつものようにマスクを着けずに大きな声で会話した。次の月曜日、職場の同僚の感染が判明してAさんも濃厚接触者となり、PCR検査で陽性となった。子ども2人の世話は何とか夫に頼んだが、保育所の送迎で接触した保育士2名が2週間の自宅待機に。更に3日後、母親にも感染していることが分かり即入院。夫、子どもは自宅待機。幸いAさんも母親も軽症で済み2週間で退院でき、夫も子どもも発症せずに済みましたが、大切な家族を守るため、いつも自分が感染しているかもと考えておくことが大切です。

※実際の事例を基に作成したものです。

家庭外での感染を防止し、ウイルスを家庭に持ち込まないために

- ・ 3密回避の徹底を!
- ・ 飲食等マスクを外す場面は特に注意!
- ・ 「帰宅したら、まず手洗い、うがい」の徹底を!
- ・ 日常的に体温計測等の体調管理を行い、少しでも具合が悪い場合はためらわず仕事や学校を休む

家庭内で感染を広げないために

- ・ ドアノブやスイッチ、トイレ、洗面所等はこまめな消毒を!
- ・ 高齢の方を守るために、家庭内でも、まずお互いの体調に気を付け、適切な「マスク着用」や適切なタイミングでの「距離」を取ることも配慮しましょう。
- ・ 高齢の方、高齢者と接する方はインフルエンザ予防接種を忘れずに!
- ・ 涼しくなった朝夕の散歩など、外出も心掛けましょう!

飲食店を利用する際の注意

飲食の場を介しての新型コロナウイルスの感染が広がっています。大人数・長時間での会食は、感染リスクの高い行為であることを御理解いただき、安心安全に飲食を楽しむ取組が大切です。

(感染事例1)

Bさんは、親しい友人10人のグループで年に1回集まり飲食を共にすることを楽しみにしてきました。今年はBさんが幹事で、コロナ対策を意識して、個室のある店を選び、2次会は取り止めて解散した。ところが、後日参加者のうち8人の感染が確認された。

(感染事例2)

Cさんはプロジェクトをやり遂げた部下3人を労おうと、1次会、2次会と約4時間にわたり、飲食を共にした。

1次会の店では、皆初めの頃は適宜マスクをしていたが、酒が進むにつれて気が緩み、マスクを外しがちになり、声も大きくなっていった。2次会の店は狭く、換気も十分ではなかったが、全くマスクを着けていなかった。Cさんと2次会の店員1人の感染が確認された。

※これらは実際の事例を基に作成したものです。

感染防止のポイント (主なもの)

- ・大人数での宴会や飲み会は控えてください。
- ・長時間や深夜の利用は控えてください。
- ・食べるときは黙って、「会話するときはマスク着用」の徹底を!
- ・感染防止対策に取り組まれていることを確認!

ガイドライン推進宣言事業所ステッカーが目印です。
皆様御自身も店舗のルールを守ってください。
店舗として感染防止対策に取り組まれているので、
皆様も店舗の取組に協力し、安心安全に飲食を楽しんでください。

- ・新型コロナあんしん追跡サービスの活用を!

店頭で掲示されているQRコードを読み取ることで登録できます。
※国の接触確認アプリ「COCOA」も御活用を。



感染された方や医療関係者等への誹謗中傷は許されない行為です。
正しい情報に基づき冷静な行動を取ってください。

- お問合せ 京都市新型コロナウイルス感染症対策本部
電話：075-222-3342
(平日9時から17時まで)

